

2012年11月15日

雑誌協会会員各位
雑誌出版界関係各位

今冬の節電3原則の継続実施のお願い

日本雑誌協会
震災対策特別委員会

冠省 雑誌出版界では、今冬の節電対策について、昨夏、昨冬、今夏で実施しました基本3原則を継続いたします。雑誌出版界に携わる私たちは、発売日に雑誌が店頭に並ぶためのあらゆる対策を講じて対応していきます。

東京電力管内では、今冬の節電の数値目標はありませんが、11月2日に決定された政府の「今冬の電力需給対策について」では東電管内でも定着した節電分平成22年比5%を目安に節電に取り組む方針が明示されました。経済産業省から12月3日から翌年3月29日までの平日9時から21時において、印刷会社等の大口需要家に対して、節電要請が寄せられています。火力発電所等の計画外停止が発生するリスクがあり、予断を許さない状況にあるためです。

このため、印刷工業会出版部会（加盟21社）では、今夏と同様の節電対策に取り組めます。具体的には、深夜時間帯や土日に作業工程を移して生産工程の編成を実施いたします。今年度から印刷各社においては平均で14.9%の電力料金の値上げに加えて、ガス料金も事業所によっては約50%アップするなど、こうした厳しい状況にありながらも各社、工程ごとの作業見直しを図り、安定した作業進行、納期に対応しています。

つきましては、今冬においても、関係部署に周知いただき、次の3原則の順守にご協力くださいますよう、お願いいたします。

1. 週刊誌以外の定期誌の48時間繰上げ進行

- ・週刊誌の基本日程厳守をお願いいたします。
- ・その他雑誌については、印刷のみならず製本、流通、書店等の負荷軽減を目的に印刷会社と相談しつつ、原則48時間の繰上げ進行に、ご協力をお願いいたします。

2. 台割（仕様）、部数、配本通知等の早期化

- ・早期の決定、連絡による印刷生産の早期組込みに、ご協力をお願いいたします。

3. ザラ紙・ラフ紙用『特色インキ』の15色絞り込み

- ・引き続き、昨夏設定しました「印刷工業会統一15色基準」の継続をお願いいたします。

なお、日本出版取次協会では雑誌進行委員会を通じて、今夏と同様、1日250点を目安に発行点数の調整を行います。出版社の皆様には、趣旨にご理解賜り、関係各部署にご周知いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

以上